

平成 15 年 7 月 11 日

41011270 本倉敬之

研究テーマ：中学校での合唱、吹奏楽指導における指揮法の実践とその指導法

1、本研究に取り組む動機

これまでに、演奏会やテレビ、ビデオ、またプレイヤーや指揮者として、様々な指揮の振り方を見てきた。音楽の形態を問わず、客観的に色々な指揮を見てみると、十人十色の振り方があり、また指揮の違いによって、出てくる音や表現、色等も変わってくることに気がついた。しかし、これは既に様々な研究、実践において立証済みであり、前記の例も一般の団体(プロ、アマ問わず)においてのことであるため、このことだけを研究課題として取り上げるのは、多少不十分である。

そこで、今回の研究は、対象を中学生に設定し、未だ発達段階にある生徒達にも同じことが通用するか、またどのような振り方をすれば教師の表現、意図が生徒に伝わるのか、そして生徒に対しての有効な指揮法の教授法について、研究を進めていく。

2、研究の方法

- ① 指揮法における様々な技法を調べる。
- ② その技法をもとに、合唱、管楽合奏において最も有効な振り方を研究する。

3、今後の課題

- ① 指揮法における様々な技法の習得
- ② 先行研究、文献のまとめ
- ③ 中学校へのアポ取り

(合唱・・・未定、吹奏楽・・・宮崎市立宮崎西中学校)の予定

※ 合唱は、宮崎大学教育文化学部附属中学校は外す予定